

V 実習で困ったこと、うれしかったこと

1. 実習中に困ったことが解決されたか (表30)

実習中に困ったことと、その後解決したかをたずねた。困ったことのある割合が一番高いのは「対応の技術が未熟だと感じたとき」94.2%で、次いで多いのは「実習記録が思うように書けなかった」90.0%である。またこの2点はその後解決されたという割合も他の項目と比べて低い。解決されたと答えている割合は、それぞれ55.1%、68.0%。

この対応の技術、記録はマスターするまでに時間のかかるものであること、実習指導の見方によって記録の書き方が統一されていないためであるとも思われる。

表30 実習中に困ったこととその後解決されたこと

	患者から必要な情報を聞き出せなかったこと	患者から怒られたこと	実習記録が思うように書けなかったこと	患者から拒否されたこと	実習場の指導者から指摘されたことがよくわからなくなったこと	対応の技術が未熟だと感じたとき
あった	978(73.2)	340(25.4)	1,202(90.0)	731(54.7)	923(69.1)	1,258(94.2)
なかった	315(23.6)	954(71.3)	90(6.7)	571(42.7)	380(28.4)	44(3.3)
無回答	43(3.2)	43(3.2)	44(3.3)	34(2.5)	33(2.5)	34(2.5)
合計	1,336(100.0)	1,336(100.0)	1,336(100.0)	1,336(100.0)	1,336(100.0)	1,336(100.0)
→ その後解決されましたか						
はい	667(68.2)	301(88.5)	817(68.0)	585(80.0)	581(62.9)	693(55.1)
いいえ	301(30.8)	35(10.3)	377(31.4)	136(18.6)	333(36.1)	538(42.8)
無回答	10(1.0)	4(1.2)	8(0.7)	10(1.4)	9(1.0)	27(2.1)
合計	978(100.0)	340(100.0)	1,202(100.0)	731(100.0)	923(100.0)	1,258(100.0)

表31 実習中にうれしかったこと

患者に感謝された	484(36.2)
自分で納得する実習ができた	62(4.6)
実習指導者から評価された	36(2.7)
看護の素晴らしさがわかった	90(6.7)
感動する場面があった	229(17.1)
実習先で素晴らしい看護婦に出会った	57(4.3)
実習の苦しさを乗り越えられた	304(22.8)
その他	26(1.9)
無回答	48(3.6)
合計	1,336(100.0)

2. 実習中にうれしかったこと (表31)

実習中一番うれしかったことは、「患者に感謝された」と答えている割合が36.2%と最も高い。

VI 卒業後の進路

1. 進学意志 (表32)

進学コースを卒業した後、時期は定めていないが、進学する意志がある学生は26.6%である。その進学希望先は、「保健婦学校」が最も割合が高く57.3%、次いで助産婦学校35.1%となっている。

2. 卒業後の進路 (表33)

卒業後の進路は、「看護婦(士)として就業する」と答えている割合が高く84.8%。すぐに進学しようと考えている学生は、10.5%である。

希望している勤務先としては、病院が圧倒的に多く90.9%、次いで診療所の2.4%となっている。

3. 特定分野への就業意向 (表34)

老人看護、在宅ケア、精神看護の領域の各分野で働いてもよいかという質問に対して、老人看護、在宅ケア共に「はい」と答えている割合が46%程度であるが、精神科看護については、30.8%となっており、老人、在宅ケアに比べてやや人気が高いのが特徴である。

表32 進学の意志

あ	る	356(26.6)
な	い	968(72.5)
無	回	12(0.9)
合	計	1,336(100.0)
→進学したいのは次にあげるどの学校ですか。卒業後進学したい学校すべてに○をつけてください(複数回答)		
看護大学		35(9.8)
保健婦学校		204(57.3)
助産婦学校		125(35.1)
看護以外の4年制大学		52(14.6)
看護以外の大学院		5(1.4)
その他		30(8.4)
無	回	0(—)
回	答	者
数		356(100.0)